

町農業の活性化に向けた施策を実践していくこととしております。特に「こだわり農業」の推進につきましては、今年1月茨城町全域が県の「エコ農業開始地区」に認定されたことが特筆すべきことであり、これを契機として町独自の「認証制度」なども導入して、安全で安心な農産物や環境にやさしい農業をアピールしつつ、「茨城町産農産物」の付加価値をさらに高めて販路拡大を図るなど、農業者の所得向上を図ってまいります。

また、国の「人・農地プラン」を活用し、新規就農者の確保や担い手の育成を図るなど後継者対策を強化するとともに、農業機械の共同利用化や農産生産基盤の整備などを通じて生産環境の改善を図り、農産物の加工・製造も含めた経営の多角化についても検討を進めてまいります。さらに将来に希望が持てる魅力的な農業を目指す取り組みを加速化させるための拠点施設として農業公社の設立についても具体的検討を開始いたします。

企業誘致においては、昨年茨城工業団地に2社が立地操業し、立地企業は合わせて15社となり、うち13社が操業開始しております。

本年も引き続き、産業復興企業立地補助金や東日本大震災復興特別区域法に基づく茨城産業再生特区制度を活用し、企業誘致を積極的に推進して参ります。

成24年度から検討を進めている文化的施設の整備について基本方針を策定したことから、文化的施設整備関係経費を計上いたしました。また、集落の活性化と協働のまちづくりの実現を目指すふさと元気づくり推進事業経費などを計上しております。町民課においては、災害時に戸籍データの正本及び副本が同時に滅失することを防ぐため、副本データを戸籍副本データ管理センターに送信する戸籍副本データ管理システム改修経費を計上いたしました。

**・民生費及び衛生費**  
みどり環境課においては、町民の防災意識の啓発を目的とした総合防災訓練に係る経費及び、環境にやさしい循環型社会の形成を目指して一般廃棄物処理基本計画の策定経費を計上しております。

こども課では、子育て支援を充実するために、保護者が疾病・就労その他身体若しくは精神的・環境的な理由により、養育することが困難になった子供の子育て短期支援事業経費を新たに計上するほか、民間保育所保育助成事業費を拡充いたしました。

また、平成27年度からスタートする子ども・子育て支援法の施行に向けて、事業計画の策定経費も新たに計上しております。

なお、「児童虐待防止対策事業」につきましても、保護者に対する専門



### ○安全で快適な生活環境整備を目指すまちづくり

町民が「安全で安心して暮らせるまちづくり」の環境を整えるため、引き続き住民と町・企業・消防・警察・学校等地域全体で協力し、交通安全や防犯対策、防災に関する取り組みを実施してまいります。

今後想定される地震災害や、東海第二原子力発電所の原子力災害による被害想定を追加した「地域防災計画」の抜本的改訂を引き続き進めるとともに、それに伴う各種の防災対応マニュアルを計画的に整備してまいります。

また、平成25年度、災害に強い町づくりと町民の防災意識の啓発を目的とした「総合防災訓練」を実施してまいります。

さらに、環境にやさしい循環型社会の形成を目指して、廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、市町村に策定が義務付けられている「一般廃棄物処理基本計画」の策定を行ってまいります。

さらに、健康増進課では、医療費抑制に資する健康づくり推進活動経費として、いきいき健康づくり推進事業費を新たに計上いたしました。また、町民課においては「いばらき聖苑」運営により、町民の福祉の増進に寄与することを目的に施設修繕工事事業費を計上しております。

**・農林水産業費及び商工費**  
農業政策課において、野菜予冷施設の整備費である強い農業づくり交付金事業経費及び新規就農者対策事業費、地域農業のあり方や今後の地域の中心となる経営体等を定める、人・農地プラン作成事業費などを新たに計上し、就農者の確保や担い手の育成を図り、さらなる農業の振興に努めてまいります。

商工費につきましては、潤沼自然公園を年次的に整備して行くため、もみじの植栽やあじさいの育成管理等の予算を計上し、景観に配慮した整備を進めるとともに、第4回目となるあじさいまつりを開催し、観光人口の増加を図って参ります。

**・土木費**  
都市計画区域の用途、地域区分の見直しを検討するための土地利用活性化検討調査事業費を新たに計上したほか、道路新設改良、補修工事費

消防につきましては、東日本震災で被災した消防庁舎に代わる新庁舎が完成し、新たな防災の拠点として活用が可能であることから、これを機に、災害に強い安全・安心なまちづくりを目指すとともに、引きつづき上水道の整備に合わせた消火栓の設置や消防団車両整備計画に基づく車両の更新を進めて消防力の充実強化を図ってまいります。

また、救急業務については、出場件数が年々増加傾向にあるため、住民や事業所等を対象にした応急手当講習会を開催し、心肺蘇生法の普及促進により、救急隊到着前の応急処置による救命率の向上を図ってまいります。

予防業務については、立ち入り検査、防火訓練指導及び予防広報活動を推進して、火災予防の普及啓発に努めてまいります。

### 平成25年度予算編成の基本的考え方と主要施策

平成25年度予算編成にあたっての基本的考え方と主要施策について申し上げます。

平成25年度予算は、「茨城町第5次総合計画」後期基本計画に基づく初年度予算として、「安全・安心で活力あるまち いばらき」の実現に向け、「将来にわたり持続可能な健全財政」を念頭に置き、かつ中長期的視点に立って、計画した各種事業を着

実に推進し、国の経済対策等、環境の変化にも的確かつ機動的に対応できるように細心の注意を払って編成に努めたところであります。

### ○平成25年度予算の総額

一般会計ほか特別会計並びに企業会計合わせた全8会計の当初予算総額は、208億7,654万1千円で、対前年度当初比14億1,180万3千円、率にして7.3%の増となっております。

うち一般会計につきましては、113億8,700万円で、対前年度比9億2,100万円、率にして8.8%の伸びであります。

次に特別会計においては、5会計合わせて83億7,079万9千円となり、前年度比7.8%増、企業会計は、2つの会計合わせて11億1,874万2千円となり9.2%の減であります。

### ○平成25年度新規事業など主要施策の概要

#### ・総務費

総務課関係においては、第4次行政改革大綱作成のため審議会経費を計上するとともに、職員の新政策研究会から提案されたふるさと納税寄付金の寄付者に対し茨城町の名産品を贈答することにより、名産品のPRと併せてふるさと納税の促進を図るための経費を計上いたしました。まちづくり推進課においては、平

強い安全・安心なまちづくりに努めてまいります。

#### ・特別会計

公共下水道事業会計において、桜の郷生活利便施設周辺の管渠施設事業経費並びに、昨年度に引き続き小鶴及び谷田地区の管渠施設事業経費の他、農業集落排水事業の施設等補修工事費などを計上いたしました。公営企業会計の水道事業会計においては、未給水地域解消と安定給水のための広域化促進事業や老朽化した配水管布設替え工事などの諸経費を計上いたしました。

国民健康保険特別会計においては、保険給付費を増額計上いたしました。が、医療費の増加が大きな課題であり、特定健診の受診率の向上と脳ドック助成の拡充を図り、生活習慣病の発症や重症化を予防するほか、ジェネリック薬品の普及を推進することにより、年々増加する医療費の抑制に努めてまいります。

以上、平成25年度施策に対する所信の一端と主要事業並びに予算の概要について申し上げますが、当面する各行政課題については、住民参加の協議機関などを設けながら施策化を進め、効率的で効果的な町政運営に全力で取り組んでまいりますので、議員各位並びに町民の皆さまのご理解とご協力を賜りたいと存じます。